

地域医療連携だより

胃、大腸、肝臓のがん 低侵襲の腹腔鏡下手術

号外
2019.4

京都岡本記念病院の消化器外科は 2019 年 4 月より、実績のある新任医師 3 人を迎えて、痛みが少なく回復が早い「腹腔鏡下手術」の態勢を強化しました。新たに加わったのは、京都中部総合医療センター（南丹市）などで 200 件を超す腹腔鏡下手術を担当した福田賢一郎部長と寒川玲医長、西田龍朗医長の 3 人で、消化器外科は 6 人体制となりました。第二岡本総合病院から外科を担当する主任部長の清水義博副院長と福田部長に話を聞きました。

京都岡本記念病院 消化器外科

主任部長（副院長）清水 義博

部長 福田 賢一郎

—消化器外科の実績は。

清水 私は第二岡本病院から含めると在籍 22 年目になります。断らない医療を掲げてきたことが地域の信頼を得て、当初は年間 100 件ほどだった全身麻酔手術が目標の 300 件を超え、今では 450 件以上になりました。

—特色は何でしょう。

清水 断らない医療の最後の砦（とりで）になるのが外科。だから、がんの手術でも自己完結を目指してきました。食道がんは低侵襲手術に優れている京都府立医大病院に委ねるような例外もありますが、いわゆる標準治療から肝・胆・膵がんのような高度な医療まで対応できます。

—2019 年 4 月から新体制になりましたが。

清水 これまでも低侵襲の腹腔鏡下手術に取り組んできましたが、そこをより強化するため、腹腔鏡下手術を得意とされる福田部長ら 3 人の医師が加わり、総勢 6 人の体制になりました。

—福田部長のキャリアは。

福田 専門は胃です。腹腔鏡下手術歴は 10 年を超え

ました。胃がんの手術を年間 40 件ほどしてきて、その半数以上が腹腔鏡下ですから、腹腔鏡下手術は 200 件を超えたいと思います。

—腹腔鏡下のメリットは。

福田 開腹手術に比べて傷が少なく、痛みも少なく、回復が早いのが特徴です。入院期間は 2～3 日短くなります。特に体力が低下している高齢者にとっては利点が大きいです。また、局所を拡大視できるので、出血を抑えた精密な手術ができます。カメラや器具の進歩も早く、当初は胆のうだけだったのが、大腸、胃、肝・胆・膵まで腹腔鏡下で対応できるようになりました。もちろん画面を見ながらになるので慣れるには訓練が必要だし、症例によっては開腹手術の方が適している場合もあります。

—新しい職場での目標は。

福田 腹腔鏡下手術をどんどん推進して、患者さんの負担が少ない低侵襲の医療を定着させたい。

—主任部長としての抱負は。

清水 頼もしい戦力が加わったので、これまで以上に、がんの治療に力を注いでいきたい。そのために化学療法や緩和ケアも含めた総合的な医療を提供します。もちろん、地域のかかりつけ医さんとは最後まで連携し、患者さん第一の医療を目指します。

腹腔鏡下手術とは

腹部に穴をあけて内部を映すカメラ（腹腔鏡）を見ながら、筒状の器具（ポート）を通して鉗子（かんし）やメスを操作して、がんを切除したりする。5～6カ所あける穴は 5mm～1cm と小さい傷で済み、術後の痛みは少ない。手術時間は開腹に比べ 1.2～1.5 倍と長い、回復期間は開腹より 2～3 日早い。カメラの精度が上がるなど技術が進歩し、大腸、胃だけでなく肝臓や膵臓のがんの手術も行われている。



左から：主任部長 清水義博 部長 福田賢一郎



大切にします
ここからだ やすらぎを

社会医療法人岡本病院(財団)

京都岡本記念病院

京都岡本記念病院 消化器外科



主任部長
清水 義博 しみず よしひろ

副院長・救急科学部長 兼任
京都府立医科大学卒（昭和 63 年）

医学博士
日本外科学会指導医 / 外科専門医 / 認定医
日本消化器外科学会指導医 / 消化器外科専門医
/ 消化器がん外科治療認定医 / 認定医
近畿外科学会評議員
特定非営利活動法人日本緩和医療学会暫定指導医
日本がん治療認定医機構暫定教育医 / がん治療認定医
検診マンモグラフィ読影認定医師
京都大学医学部臨床教授
京都府立医科大学臨床教授 / 学外講師
日本救急医学会救急科専門医
山城北地域メディカルコントロール協議会委員（医師）
京都府臓器移植コーディネーター
日本 DMAT 隊員 / 統括 DMAT 登録者
ほか インストラクター資格など多数



副部長
山本 芳樹 やまもと よしき

京都府立医科大学卒（平成 6 年）

医学博士
日本外科学会外科専門医
日本外科学会認定医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
検診マンモグラフィ読影認定医師



医長
吉澤 正敏 よしざわ まさとし

京都府立医科大学卒（平成 22 年）

日本呼吸器外科学会所属
日本外科学会所属

4 月から 3 人の医師が加わりました

4 月着任



部長
福田 賢一郎 ふくだ けんいちろう

京都府立医科大学卒（平成 8 年）

医学博士
日本外科学会指導医
日本外科学会外科専門医
日本消化器外科学会指導医
日本消化器外科学会専門医
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
日本内視鏡外科学会技術認定医
日本消化器病学会専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
検診マンモグラフィ読影認定医師
日本乳癌学会認定医
近畿外科学会評議員
日本 DMAT 隊員

ひとこと 腹腔鏡下手術を駆使して「低侵襲で良質な医療を提供する」をモットーに消化器外科全般を診療します。

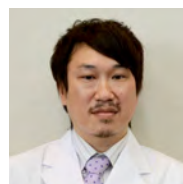


医長
寒川 玲 そうがわ あきら

山口大学卒（平成 18 年）

日本外科学会外科専門医

ひとこと 人と人との関わりを大切に、地域の皆さまのニーズに応えていきます。



医長
西田 龍朗 にしだ たつろう

滋賀医科大学卒（平成 19 年）

日本外科学会外科専門医

ひとこと 腹腔鏡手術を頑張ります。胃がん、大腸がんはもちろんのこと、ヘルニア、虫垂炎、イレウスなども可能な限り腹腔鏡手術で行います。

患者さまご紹介のときは、お気軽に地域医療連携室へご連絡ください。

ご紹介患者さまの予約サービスを行っております。紹介患者さまの待ち時間の短縮になります。
また、あらかじめ情報をご提供いただくことで、患者さまのスムーズな受診となります。ぜひご利用ください。



社会医療法人岡本病院（財団）

京都岡本記念病院

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山西ノ口100番地

地域医療連携室 TEL 0774-46-5981（直通） FAX 0774-46-7835（直通）